

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▼賛成多数

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の規定を整備しようとするもの。

福生市国民健康保険条例第6条の出産育児一時金について、金額を39万円から40万4千円に改め、産科医療補償制度に加入している分娩機関で出産したときの加算額を3万円から1万6千円に改める。

◎福生市都市計画税条例の一部を改正する条例
平成27年度から29年度までの各年度の都市計画税の税率の特例を定めようとするもの。

福生市都市計画税条例では都市計画税の税率については、本則では百分の0・3としているが、附則で特例として、平成24年度から平成26年度までに限り百分の0・24に定め、3年ごとの固定資産評価替えにあわせて見直しをしてきていることから、平成27年度から平成29年度の税率も、期間中の都市計画事業費等及び都市計画税の見込みにより引き続き0・24%としようとするもので、都市計画事業としては富士見通り整備事業、雨水管整備事業などを見込んでいる。

◎平成26年度福生市一般会計補正予算(第4号)
債務負担行為の追加、都の補助金を活用した子育て支援事業及び西多摩衛生組合負担金の額の確定など、歳入歳出予算を補正する必要が生じたため、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ684万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を230億9109万1千円と定めようとするもの。

また、平成26年度の都市計画税の税率順では、福生市は都内26市中で低い方から5番目となつて

いる。

生活困窮者自立支援システムの導入経費として歳入に国庫補助金200万円を、歳出に社会福祉費200万円を追加し、病児保育施設を市内に整備する事業者に対する経費補助として歳入に都補助金824万4千円を、歳出に児童福祉費1515万6千円を追加する。このうち、国及び東京都の補助金を除いた691万2千円が市の負担となる。

また、もくせい会館・商工会館改良事業の内容を見直したため、事業名をもくせい会館建設事業に変更し、歳入の商工会館改良工事商工会負担金340万2千円、歳出の総務管理費771万円、商工費25万8千円をそれぞれ減額しているほか、西多摩衛生組合負担金の確定による減額、消防事務都委託費負担金の確定による減額等をしている。

なお、もくせい会館の実施設計委託料には特定防衛施設周辺整備調整交付金(9条)の充当を予定していたが、事業変更により不用となったため、1千百万円を特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金への積み立てとした。

また、債務負担行為補正の追加3件については、平成28年度から実施する新公会計関連システム導入等委託として限度額1

億5千万円を、委託期間終了により平成27年度以降の委託先を今年度内に決定する必要がある指定収集袋製造等委託として限度額2910万円を、防災食育センター整備工事実施設計委託も年度内に契約の必要があることから限度額4652万8千円を設定している。



▲東京都ほか自治体主催による公会計制度改革シンポジウムの様子

◎福生市と昭島市との境界変更について

防災食育センター(災害時対応施設)の建設に伴い整備上必要となることから、福生市と昭島市との境界を変更しようとするもの。

福生市から昭島市への編入区域は、福生市大字熊川字武蔵野地内の一部、昭島市から福生市への編入区域は、昭島市美堀町三丁目地内の一部で、189・26平方メートルの同等面積を交換する。

◎福生市と昭島市との境界変更に伴う財産処分に関する協議について

福生市と昭島市との境界変更に伴い、財産処分について昭島市と協議しようとするもの。

◎字区域の変更について

福生市と昭島市との境界変更に伴い、昭島市美堀町三丁目地内の三筆の土地を福生市大字熊川字武蔵野に編入するもの。

生市と昭島市両市の財産の帰属について、福生市へ編入される区域に存する昭島市所有の公共下水道施設(雨水管)が、境界変更後に福生市に帰属することを規定する。



昭島市との境界変更図



「臨時会が開催されました」

平成26年第2回臨時会が11月28日に開催され、議案5件の審査を行い、原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

◎福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
東京都の給与改定に準じて、福生市の一般職の職員の給料表及び勤勉手当の支給割合を改定するとともに、平成26年12月期に支給する期末手当の特例を定めるもの。

◎福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
東京都の給与改定に準じて、特定任期付職員の給料表及び期末手当の支給割合を改定するとともに、平成26年12月期の勤勉手当の支給割合の特例を定めるもの。

◎福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
福生市長等の給与に関する条例の一部改正、福生市教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部改正、福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正に伴い、各科目に計上している職員人件費の補正が必要となったもの。

市長等に支給する期末手当の支給割合を改定するとともに、平成26年12月期に支給する期末手当の支給割合の特例を定めるもの。



住民への避難勧告等発令の判断基準は整備されたのか

柳川 英司 議員

質問 住民に向けた避難勧告発令には種々の課題がある。福生市地域防災計画に記す「避難勧告等の発令基準の整備」の進捗状況は。

市長 避難情報には、災害発生の切迫度により避難準備情報、避難勧告、避難指示の3種類があり整備を進めてきた。避難情報の発令基準は、水害では多摩川の水位や大雨警報等による基準を定め、土砂災害では土砂災害警戒情報、警戒区域での異常兆候等による基準を定めた。この基準と実際の状況や気象庁等の助言を総合判断し避難情報を発令する。今

後も市民への周知を図っていききたい。



▲防災訓練で避難所用仮設トイレを組み立てる参加者

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、18名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

要旨の掲載は一問とし3ページから5ページまでに掲載しました。一般質問の項目は6ページに全て掲載してあります。

詳しくは、2月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

子育て支援施策の中で病児保育サービスの実現は

五十嵐 みさ 議員

質問 働く母親にとって急な子どもの病気は悩みの種だ。保育園保護者へのアンケートなども踏まえ、病児保育に対する考えを伺う。

市長 病後児保育施設は2カ所開設し利用いただいているが、保育園児保護者へのアンケートでは、病児保育サービスへの要望が強い。医療機関と連携し病児を預かり保育する施策実施の必要から、病児保育をしてもらえる医療機関を福生市医師会に依頼していたが、平成27年4月から市内に定員4人の施設開設の調整ができ、今定例会に補正予算を上程

し審議いただく運びである。



町会・自治会の募金活動のあり方について

末次 和夫 議員

質問 町会、自治会の年4回の募金等は、隣組長にとって大きな負担であり第2の町会費ともいえる。本来、募金は自発的なものだが、強制感を伴う現状の募金のあり方をどのように考えているか。

市長 赤十字募金、歳末助け合い運動募金は、町会・自治会へも還元されているが、町会等の募金額は全体の95%を超えていることから募金が強制感を伴う場合があることも認識している。今後、町会長・自治会長へのアンケート調査を実施し、その結果も踏まえ、募金活動の方法を

模索していききたい。



▲歳末助け合い運動募金

特典付きふるさと納税について市の現状と対策は

田村 正秋 議員

質問 平成20年導入のふるさと納税は、寄附のお礼に特産品等の特典をつける自治体も増え著しく伸びているが、福生市の現状と対策を伺う。

市長 福生市でも26年9月までに延べ2,700万円近くの寄附があった。自主財源の少ない当市の税外収入確保からもこの制度を推進していきたい。特典付きふるさと納税の導入については、特産品を求めて寄附が多くなれば、収入増だけでなく特産品PRにもつながるため担当部署で先行自治体の状況を調査し、協議を行っている。今後、商工会の意見等も

聞き研究した上で結論を出したい。



▲福生市のふるさと納税広報用ホームページ

観光イベントでの交流人口数、消費金額や今後の考え方は

町田 成司 議員

質問 福生市の観光イベントにどれほどの交流人口があり、1人当たりいくら消費しているか。今後、それをどう増やしていくつもりか。

市長 七夕まつり、桜まつり、ほたる祭、インターナショナルフェア、日米友好祭への来場者数は、過去5年の平均で61万2,735人、平成23年度調査では市外から67.4%の約41万3,000人、1人当たり消費額は2,728円だった。今後も既存事業の充実と情報メディアを活用したPRに努め、集団・通過型から個人・体験学習・交流型へシフトした観光潮流に応じ

た施策を打ち出していききたい。



▲七夕まつりで賑う福生駅西口駅前通り

介護保険制度改正に伴う予防事業の現状と取り組みを聞く

大野 聡 議員

質問 介護保険制度改正で、予防の訪問介護、通所介護が市町村の地域支援事業へ移行される。市の事業の現状と今後の取り組みを伺う。

市長 市では地域包括支援センターや柔道整復師会、体育協会の協力でさまざまな介護予防教室を実施し、また介護リスクの高い方の自宅を訪問し相談も受けている。訪問介護、通所介護を含めた新制度での地域支援事業は、ガイドラインに基づき進めたい。介護保険改正で構築が求められる地域包括ケアシステムでは、地域包括支援センターの役割が大き

くなるので、複数化も検討中である。



マイナンバー制度導入での今後の業務やカード交付は

武藤 政義 議員

質問 マイナンバー制度への対応で、地方自治体も多くの業務が関わると思うが、住民への個人番号カード交付の流れはどうなるのか。

市長 個人番号の利用範囲は、年金・労働・福祉・医療等の社会保障、税、災害対策の分野に及ぶ。現在、住民基本台帳システム等の改修と並行し、特定個人情報ファイルを取り扱う事務の確認調査を実施している。

市民部長 地方公共団体共同運営の地方公共団体情報システム機構を通じカードが作成され、市はその交付、照会への対応、通知返戻分調査

等を総合窓口課を中心に行っていく。



▲マイナンバー制度広報用キャラクターマイナちゃんによる内閣府からのお知らせ

市内に出没した野生イノシシ捕獲の経緯について

串田 金八 議員

質問 野生イノシシが市内で捕獲された。各メディアからの情報がやや違っているが、真相は。最初に出たあきる野市との連携はどうか。

市長 今回は市職員が加わりイノシシを捕獲し、被害を最小限に食い止めた。素人が野生イノシシに近づくと危険で賛否両論あるが、職員の行動は市民の安全を第一に考えたもので、福生市5人、あきる野市1人のけが人の早期回復を願っている。

総務部長 防災行政無線放送とふっさ情報メールにて注意喚起の後、あきる野市と連携してパトロールを

行い、捕獲確認後に警戒を解除した。



▲市内に出没して被害をもたらしたイノシシを取り押さえる様子

I C T (情報通信技術を活用した) 教育について

清水 義朋 議員

質問 タブレット端末を活用した学習が、学力に与える効果を検証する研究が産官学協働で始まったが、その経緯と現状、今後を伺う。

教育長 モデル校視察の際、児童生徒は集中して取り組んでいた。ドリル問題をタイムトライアル形式で解答すると、自動的に採点結果がフィードバックされ、誤答を復習する時間もある。取り組むほどポイントが上がる仕組みで、学習意欲・学力の向上につながる。国のI T利活用社会実現の目標に合わせて、I C T教育推進指針「福生市立学校I C T

推進計画(仮称)」を策定予定である。



▲電子黒板を活用した授業の様子(島根県海士町)

病後児保育を幼稚園児保護者は利用できないのか

岩崎 百合子 議員

質問 保育園と一体となる時代に幼稚園児が病後児保育を利用できない。「子育てするならふっさ」なら、全ての子どもを対象にしてほしい。

市長 病後児保育は、児童が病気回復期で集団保育が困難な時期に一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援する制度で、幼稚園児の保護者には就労者もいるが、夏・冬に長期の休みがあり教育時間も4時間であることから、現状では利用対象としていない。今後は幼稚園児でも、保護者の就労、傷病、出産、冠婚葬祭などの理由で家庭保育

が困難な場合は受入れを検討する。



▲すみれ保育園内に開設している、病後児保育室

若年者に一般健診を実施し生活習慣改善の契機に

堀 雄一郎 議員

質問 特定健診対象者以外に、若年者の健診を実施し早くから生活習慣改善の契機としている自治体の例がある。本市でも導入してはどうか。

市長 市では40~74歳の特定健診、75歳以上の後期高齢者健診を実施しているが、39歳以下の若年層の健診は実施していない。若年の疾病の早期発見や生活習慣病の予防は重要で、生産年齢期の健康促進については定住化対策の取り組みにも掲げている。生活が不摂生になりがちな若年に健康や特定健診受診を意識づけることは意味がある。今後、実施市の状況

を踏まえ検討したい。



児童・生徒の音楽のまちづくりについて

原田 剛 議員

質問 「児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート」等での演奏は感動的だった。楽器購入から5年たったが、今後どう取り組むのか。

教育長 福生第七小学校の創立記念式典での合奏や合唱、各中学校の合唱コンクールでも音楽レベルの高さがわかる。東京都中学校吹奏楽コンクールでの連続受賞、市内各地での演奏等の披露で市民からの評価も高い。これは、平成21年度に楽器を整備し、児童生徒による音楽のまちづくりを推進してきた成果だが、メンテナンスの必要な楽器も多い。今

後も拡充を目指して整備を検討する。



▲児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート

公民館はどう利用するのか、利用されているのか

杉山 行男 議員

質問 公民館について、申込方法や使用料、利用者の状況、個人利用の可否、利用実績について伺いたい。

教育長 公民館は社会教育法において事業内容や設置手続き等が定められ、社会教育の組織的活動としての利用が想定されている。

教育次長 市民会館に併設の公民館本館と地域会館に併設の白梅分館、松林分館がある。団体利用が原則で、社会教育活動を行う目的などの要件を満たし、届け出たサークルから使用料は徴収しない。サークルや公共団体の利用が約9割で、他は有料使

用。町会・自治会は使用料免除となる。



▲公民館のつどいの様子

イノシシをはじめとする有害獣防災への取り組みは

大野 悦子 議員

質問 イノシシ出没や被害についての市内放送はわかりにくかった。生物多様性の観点から他の外来有害獣も含め対処をどう考えているのか。

市長 今年は全国的に大型野生動物が住宅地に出没し、本市でもイノシシによる負傷事故、アライグマ、ハクビシンによる農業被害があった。近隣市町村や警察と連携し、ホームページ等で野生動物の危険性、えさやり禁止、ごみ管理の徹底など注意喚起を図る。外来種については、国、東京都の指導の下、生物多様性の保全に努めていく。



▲農作物などに被害を与えるハクビシン

災害時対応施設(新学校給食センター)での今後の給食は

阿南 育子 議員

質問 計画の遅れが報告されたが、建設に伴う小中学校工事や採用予定の食器はどうか。食材は福生市ゆかりの産地から調達できないか。

教育長 平成29年7月末まで現学校給食センターによる給食を継続し、中学校のランチルームによる昼食対策も継続を検討中である。小中学校の整備改修工事に変更はなく、食器は強化磁器食器を28年度に調達の見込み。災害時対応施設での食材は前日納品を予定しており、農産物や加工食材の地場産物も使用がより促進される。福生市と関連のある市町村から

の食材調達も視野に入れていきたい。



▲防災食育センター(災害時対応施設)の完成イメージ図

平成26年 第4回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 末次 和夫 (一問一答)	1 平成27年度予算編成について (1)基本的な考え方について (2)重要施策について (3)財源の確保及び歳出の抑制について 2 過去の一般質問における提案及び要望の現状等について (1)収納業務の一元化について (2)町会・自治会の募金等のあり方について (3)A E Dのコンビニ設置について	⑪ 阿南 育子 (一問一答)	1 子どもの権利を大事にしたまちづくりについて (1)子どもの権利について 2 災害時対応施設(新学校給食センター)について (1)今後の給食について (2)給食献立検討会について (3)食材の放射能測定について
② 町田 成司 (一問一答)	1 人口減少定住策問題について (1)福生駅前の高度利用と駅前居住について 2 観光行政について (1)福生市における観光事業の進捗状況について (2)福生市における交流人口の数値及び一人当たりの消費金額、また今後はどのように考えているのか	⑫ 串田 金八 (一括)	1 出没する野生動物について (1)市内で捕獲された野生イノシシについて (2)蚊の媒介によるデング熱への対応について 2 自己啓発等休業制度について (1)自己啓発等休業制度を活用した経緯と活動について (2)自己啓発等休業の成果の活用について 3 市内にある各種団体について (1)老人クラブ・小地域福祉活動について (2)青少年育成地区委員会について (3)無形民俗文化財としての天王ばやし・囃子連について
③ 武藤 政義 (一括)	1 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)について (1)整備の進捗状況について (2)今後の業務内容等について 2 外国人住民への窓口対応について (1)外国人住民の来庁状況について (2)窓口対応策について 3 芸術、文化の振興について (1)芸術、文化振興の考え方について (2)主な施策について	⑬ 岩崎 百合子 (一括)	1 都市計画道路3・4・3の1号(新五日市街道線)について (1)拡幅事業の進捗状況と今後のスケジュールについて (2)拡幅事業の効果について 2 病後児保育について (1)現状の利用状況について (2)登録システムについて (3)対象者について 3 学力向上について (1)全国及び東京都の学力調査結果からみた本市の状況について (2)英語検定について
④ 柳川 英司 (一括)	1 商工業振興について (1)空き店舗対策及び後継者問題について (2)商工会事業(住宅改修等工事費助成金)について 2 地域防災について (1)平成26年度福生市総合防災訓練について (2)避難勧告等の発令の判断基準について 3 都市計画道路3・4・7号線(富士見通り)について (1)現在まで取り組んだ進捗状況等について (2)都市計画道路3・3・30号線(産業道路)の延伸部について	⑭ 原田 剛 (併用)	1 健康寿命を延ばす施策について (1)高齢者の運動推進について (2)健康寿命を延ばす体制作りについて 2 認知症について (1)認知症支援策の充実について (2)早期発見・早期治療について 3 学力向上について (1)ICTを活用した教育について (2)自己肯定感を高める教育について 4 児童・生徒の音楽のまちづくりについて
⑤ 五十嵐 みさ (一問一答)	1 子育て支援施策について (1)切れ目のない子育て支援施策について (2)病児保育について 2 図書館の機能充実について (1)読書通帳について (2)雑誌スポンサー制度について (3)国立国会図書館デジタル資料閲覧について (4)地域のビジネスサポートと図書館コンシェルジュの育成について	⑮ 大野 悦子 (一括)	1 災害対応について (1)防災の取り組みについて 2 デング熱、エボラ出血熱、イノシシ被害等への市の対応は 3 敬老記念品の配付について
⑥ 田村 正秋 (一括)	1 ふるさと納税について (1)市内の状況と対策について 2 宿橋通りの整備について (1)現状と対策について 3 認知症について (1)認知症予防の現状と対策について (2)認知症サポーター養成講座について 4 年金難民について (1)市内の状況等について	⑯ 池田 公三 (併用)	1 生活保護基準引き下げに伴う諸施策の影響と対策について (1)関連54施策の現状について (2)就学援助該当基準を生活保護基準の1.1倍にすることについて 2 教育再生首長会議について 3 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う教育委員会制度のあり方について (1)教育委員会をより活性化させることについて (2)新教育長と教育委員について (3)総合教育会議について 4 学校給食費の無償化について
⑦ 大野 聰 (一括)	1 介護保険制度改正に伴う地域支援事業等の取り組みについて (1)介護予防事業の現状と新制度への取り組みについて (2)認知症施策の現状と今後の計画について (3)在宅医療と介護連携について	⑰ 青海 俊伯 (一問一答)	1 新公会計制度導入について (1)導入の目的と経緯 (2)費用対効果 (3)採用する方式の優位差と仕事の進め方 (4)市民にとっての利点 2 安全安心のまちづくりについて (1)総合防災訓練の総括 (2)コンビニ全店へのA E D設置 (3)中学生への応急手当訓練の充実
⑧ 清水 義朋 (一括)	1 教育行政について (1)ICT(情報通信技術を活用した)教育について (2)コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について	⑱ 奥富 喜一 (一問一答)	1 横田基地について (1)横田基地の機能強化が進んでいることについて (2)オスプレイの飛来・訓練・配備等について 2 通学路の安全対策をさらに強めることについて 3 福祉バス改善と、誰でも乗れる市民バスを運行することについて 4 曇らないカーブミラーの設置について
⑨ 堀 雄一郎 (併用)	1 社会保障・税番号制度導入について (1)特定個人情報保護評価について (2)コンビニ交付の実現について 2 まちづくりの基盤整備について (1)視覚障がい者の歩行支援について (2)地域ニーズに合わせた公園づくりについて (3)ドッグランについて 3 健康増進施策について (1)一般健診(職場等で健康診断を受けられない方)の実施について (2)健康ガイドの作成について		
⑩ 杉山 行男 (併用)	1 公共施設の利用について (1)地域会館について (2)体育館について (3)図書館について (4)学校施設について (5)市民会館について (6)公民館について (7)各施設の利用の違いについて		

委員会の審査から

建設環境委員会

12月9日に委員会が開催され、議案1件を審査し原案のとおり可決しました。また1件の陳情が継続審査となりました。

◎平成26年度福生市一般会計補正予算(第4号)

(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 西多摩衛生組合負担金1億3364万円の減額理由は。



▲西多摩衛生組合の中央制御室

答 構成市町の負担金額は、平成26年度当初では20億556万2千円で

今定例会の常任委員会では、本会議から付託した議案と、継続審査となっていた陳情の審査が12月9日、10日、11日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

それから、横田基地対策特別委員会、定住化対策特別委員会が12月12日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

市民厚生委員会

12月10日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決し、2件の陳情が継続審査となりました。また、1件の所管事務調査を行いました。

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 産科医療補償制度の概要は。



▲西多摩初となる建設中の病児保育室

答 生活困窮者自立支援事業は、福生市直営での対応を考え、自立相談支援事業と同居確保給付金支給の2つの必須事業を行う。病児保育については、利用定員を4人と定め、開所日、開所時間、利用要件や病後児保育との連携などは、事業者と調整をしている。感染を伴う児童には、隔離室が2部屋ある。

総務文教委員会

12月11日に委員会が開催され、5件の議案と1件の陳情を審査しました。議案は全て可決し、陳情は継続して審査することとなりました。

◎福生市都市計画税条例の一部を改正する条例

問 現行税率を据え置く根拠は。

答 充当率の変動はあるが長期に渡ってできるだけ平準化することが望ましいことから据え置いた。

問 充当率が100%を超えた場合はどうか。

答 超えないように設定しているが、他市では、超えた場合は基金に積みこむという処置をとっている。

◎平成26年度福生市一般会計補正予算(第4号)

(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 新公会計関連の債務負担の関係で、他に追加

するような項目が出たらどうするのか。
答 何か新しいことが必要になれば、補正予算をお願いすることになる。
問 もくせい会館建設事業費をどのように執行するのか。
答 基本設計については平成26年11月21日から平成27年3月13日までの工期で現在作業を進めている。

昭島市との境界変更について

◎昭島市との境界変更について

問 昭島市との境界変更に伴う財産処分に関する協議について

答 福生市に編入される区域内にある雨水管の維持管理については、福生市が維持管理をすることになる。費用負担については、編入される部分以外の昭島市側の雨水管及



▲昭島市との境界変更箇所を視察

び残堀二号幹線の雨水管については、昭島市の残堀二号幹線を經由して残堀川に排水することになるため、昭島市が残堀幹線を建設するときに協定した両市の排水面積の割合で、福生市3割、昭島市7割で負担することに

字区域の変更について

◎字区域の変更について

問 新地番の付け方は。

答 新地番が付番されるまでの手続きについては、本会議で議決いただき、東京都等の手続きを経て、昭島市それぞれ管轄の法務局へ、管轄転属用の関係書類を提出し、新地番等の付番を依頼する。

その後、法務局の新地番等の決定を受けて、境界変更とあわせて平成27年12月1日から施行する予定である。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会

が閉会中も含め6回開催されました。

特別委員会活動から...

定住化対策特別委員会

12月12日に委員会が開催されました。主な内容は次のとおりです。
11月26日の委員会でも、市長から提示を受けた「福生市子ども・子育て支援事業計画(案)」に対する議会としての要望事項を検討しました。

横田基地対策特別委員会

12月12日に委員会が開催され、横田基地に関する3件の議題について協議しました。主な内容は次のとおりです。

1. 東京都と基地周辺5市1町による総合要請について
2. 東京都が実施の航空機騒音調査結果について
3. 横田基地に関する情報等について

「平成26年度横田基地対策に関する要望書及び追加要望書」を国の機関及び在日米軍等の機関へ提出し、要請しました。要望事項は、「オスプレイについて正確かつ速やかな情報提供を行うこと」に推進し、これからの福生市子ども・子育て施策の総合的、一体的な取り組みの方向性や目標を定めるため制定するもので、「子育てするならば」の重要な指標となるものです。

定住化の取り組みでは、子育て対策は重要な施策となることから、委員それぞれがさまざまな視点から意見を出し合い、市長に対する「福生市子ども・子育て支援事業計画(案)」に対する要望書として取りまとめました。この要望書は、19日の本会議に上程し、原案どおり可決され、市長に提出しました。

(要望書の内容は、一面に掲載しました。)

12月12日に委員会が開催され、横田基地に関する3件の議題について協議しました。主な内容は次のとおりです。

行政視察報告

福生市議会では、全国の市町村の特色ある施策を、今後のまちづくりの参考にするため委員会等の視察を行っています。今回は、常任委員会及び特別委員会が先進地の視察を行いました。なお、視察報告書の本文を市議会ホームページに掲載しています。

建設環境委員会

視察目的 ①第三セクター

北条鉄道と住民の連携によるまちづくりについて
②公園施設管理について・赤穂市の都市景観について

視察先 ①兵庫県加西市
②兵庫県赤穂市
視察日 平成26年5月14日(水)～5月15日(木)
③第三セクターで運営の北条鉄道は、加西市のほ



▲兵庫県赤穂市の都市景観について視察

・歴史的、文化的な環境を最大限に利用しながら風格と潤いのあるまちづくりを目標に酒蔵を中心として整備された地区を現地視察。道路の美装化、助成金を活用した住宅改修、住民参加による街並み整備など、しっかり合意形成されており、観光客の増にもつながっています。

①奥州市は認知症高齢者が増え続ける中、介護者が実態調査から自宅とデイサービス以外の居場所が欲しいとの声から認知症カフェ「思い出カフェ」を設置し、本人や家族が気軽に立ち寄り、地域の方々と専門職とのふれあいを通して、支援が受けられる居場所づくり事業について調査しました。
②横手市は要介護認定の要因において、脳卒中・認知症・骨折・骨関節疾患が多いことから、健康をテーマとした交流拠点を「健康の駅」として介護予防・健康増進に取り組んでいます。大規模駅で行っている3カ所のト

市民厚生委員会

視察目的 ①認知症思い

出カフェについて②健康の駅よこてについて
視察先 ①岩手県奥州市
②秋田県横手市



▲岩手県奥州市の「思い出カフェ」を視察

視察日 平成26年10月16日(木)～17日(金)

①八尾市指定文化財安中新田会所跡旧植田家住宅について
②「教育のまち池田」について
視察先 ①大阪府八尾市
②大阪府池田市
視察日 平成26年7月9日(水)～10日(木)



▲大阪府八尾市の旧植田家住宅を視察

市の歴史に触れていた。定住化対策において様々な施策が必要とされる中、教育環境の充実が有効との意見が多く、本市の教育を高める上で、小中一貫教育、英語特区などで成果をあげている池田市を視察しました。各施策の計画段階では理解が得られなかったが、担当者の情熱で実現し、小学校の英語教育ではほとんどの生徒がアンケートで「楽しい」と答えるまでに至った。小中一貫に関しても、指導の不連続性を解消しているとのことでした。

総務文教委員会

レーニングセンターや各種運動教室、また身近な公民館や地域会館を利用した中規模駅・小規模駅で行っている健康教室や椅子に座って無理なくできる「らくらく体操教室」などの事業について調査しました。

①定住自立圏構想とは、平成20年に総務省が策定した制度で、人口50万人程度の都市が中心となり、生活・経済面でかわり生活の深い周辺市町村と地域全体で、人口定住に必要な生活機能の確保に取り組み、特別交付税で財源措置される。市は、周辺7町村と平成21年から協定を結び、「みのかも定住自立圏共生ビジョン」

定住化対策特別委員会

視察目的 ①みのかも定住自立圏構想について

②定住化の促進について
視察先 ①岐阜県美濃加茂市②岐阜県揖斐川町
視察日 平成26年7月30日(水)～31日(木)

①舞鶴市における基地関連施設の概要について②自衛隊舞鶴基地の市及び市民への影響等について③市民との交流等について④市民への情報提供及び安全対策等について
視察先 ①京都府舞鶴市
②海上自衛隊舞鶴地方隊



▲岐阜県美濃加茂市の「みのかも定住自立圏共生ビジョン」を視察

視察日 平成26年6月25日(水)～26日(木)
舞鶴市は、戦前は旧帝国海軍と共に、戦後は昭和27年に海上自衛隊の基地が開設され発展した。現在、舞鶴地方隊には航空基地や海上訓練指導隊、教育隊などの施設があり隊員数は市人口の4・1%にあたる約3千7百人が駐留。国からの基地交付金は、福生市の10%にあたる約1億6千3百万円。その他、当市同様防衛補助事業(8条)助成、特定防衛施設周辺整備調整交付金(9条)の交付を受けている。

横田基地対策特別委員会

視察目的 ①舞鶴市にお

ける基地関連施設の概要について②自衛隊舞鶴基地の市及び市民への影響等について③市民との交流等について④市民への情報提供及び安全対策等について

また、艦船の修理や施設工事物資の調達など、雇用を含め地元経済の支えともなっている。市民との交流では、多くの友好イベント等を通して強い絆が築かれており、舞鶴市が海上自衛隊との共存共栄を基本としていることが印象的でした。



▲海上自衛隊舞鶴地方総監部(海軍記念館前)

この時期、議会棟(第二棟)から見える冠雪の壮観な勇姿の富士に励まされる気がします。今定例会は、開催日と衆議院議員選挙の公示日が重なった中で、スタートでした。経済の好循環と政治の安定が求められる総選挙の結果は、我が市の市民サービス向上につながるものと信じます。本会議2日目には、小惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げが成功し、我が国の技術力を世界に示す好機と期待します。今定例会では、一般質問を初め、条例改正や補正予算や債務負担行為など行政運営に欠かせないものでした。三常任委員会、二特別委員会では活発な審議が行われました。新たな陳情や研究課題をいただきました。休会中も議員全員が調査研究・研鑽を積み、次回定例会には議論ができる事と思います。最終日頃には、全国で爆弾低気圧による冬の嵐が吹き荒れ降雪被害や交通の乱れ等の報道が相次ぎました。昨年2月、50cm超の大雪を2回続けて経験した私達にも、実感が伝わって来る出来事でした。本会議の様子は、録画で配信していますので、市議会ホームページからご覧いただきたいと思ひます。

編集後記